

2024 くすのき

VOL.35

# 樟 樹

一宮神社

樟樹会 新居浜西島尋学校同窓会

# 校内こんなところ(こと)ご存知ですか?

● 第19回 ●

## 地域との交流

### 1. 少年野球チームとの交流

令和5年10月22日(日)に、本校野球部と新居浜瀬戸内ボーイズとの交流会が本校グラウンドで行われました。野球部員が小学生たちに野球の基礎技術を教え、交流を図りました。最後にティーボールの特別ルールで野球部対小学生(低学年)、野球の特別ルールで野球部対小学生(高学年)の試合が行われ、盛況のうちに交流会を終えました。



なお、このときの様子は、右に掲載しているQRコードを読み取っていただくと見ることができます。興味のある方はぜひ。



### 2. 青少年国際交流会

令和6年1月21日、市内高木町で行われた第1回青少年国際交流会に本校生徒9名が参加しました。新居浜ひうちライオンズクラブ主催で行われたこの企画は、外国人と積極的に交流をすることでコミュニケーションの向上だけでなく、地元新居浜に住んで生活している外国人とより住みやすい街を目指すものでした。アジア、欧米出身の16名の外国の方と共に、それぞれの学生時代や学校の特徴、国の学生の悩みについて話し合い、クイズに参加し、話し合いのまとめをグループごとに発表しました。初対面で緊張した面持ちは次第に笑顔へと変わり、国際理解や共生社会に向けて力強く歩んでいく若人の姿に明るい未来が見えました。



## 50年目の卒業式

(昭和49年卒)

加地 由照

令和6年3月1日、「50年目の卒業式」に招待された。関係者の皆様  
に心から感謝を申し上げたい。

全国各地から約40名が集結した。大学受験のため自分自身の卒業式には参加できなかった者、卒業後母校へ足を踏み入れたのが久しぶりだという者など、様々な思いを胸に抱いての参列だった。

式場に流れる吹奏楽や合唱。それに合わせて入場する卒業生たちの凛々しい姿。卒業生たちの元気な返事にも校長先生のお言葉にも在校生の贈る言葉にも、それに応える卒業生の言葉

にもすべ  
てが胸に  
響いた。  
後輩た  
ちに幸あ  
れ。新居  
浜西高こ  
こにあ  
り。良い  
時間をあ  
りがとう  
ございました。

ました。



横川 京子

「来た!」50年目の卒業式の案内状だ。楽しみにしていた。同級生との再会はもちろんだが、その時間を共にした仲間と再び同じ時間を持つことができるのがうれしい。

当日会場で顔を合わせて名札を見ても半分は分からない。微笑むしかない。それでも気持ちは弾んでいる。卒業後初めて学び舎に足を踏み入れた者は、制服をはじめ校舎やクラブハウス、体育館と、当時とは様変わりしている母校に戸惑っていた。50年の時の流れを感じたことだろう。落ち着かないまま式典に参加した私たちを荘厳な生演奏が歓迎してくれた。私たちの頃にはなかった粋な演出である。そして式典が進行するにつれ、卒業生や在校生の落ち着いた秩序ある態度、自信に満ちた言葉や声に、昔と同じ西高生の誇りと気概を感じ取ることができた。周囲の景色は変わっても私たちが過ごした西高の空気そのままが後輩たちに受け継がれていることが感慨深く、今日ここに参列できたことに感謝した。

同期会の会場では話も弾み、近況報告や家庭事情、人生相談まで、思い思いの話題で盛り上がり、次は大阪?東京か、早めに同期会だと、気持ち前向きになったのはお酒のせいばかりではなさそう。亡くなった友人の数は両手に余る。古希を迎えて、会える時に会おうと誓い合った。

3月中旬には「49年新居浜西高同窓会集まれ」のLINEが開設され、全国各地から花だよりが寄せられていた。

## 会長挨拶



樟樹会会長  
せのお じろう  
妹尾 次郎  
昭和55年卒

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

本年は元旦に能登半島で大地震が発生するという大波乱の幕開けとなりました。数十年以内にかんがりの確率で東南海地震が発生すると言われていた四国においても、4月17日の23時過ぎに豊後水道を震源とする震度6弱の地震が発生しました。幸いにも人的被害は最小限でしたが、日頃から地震に対する感度を上げて、命を守る準備を怠らないようにしておくことが大切であると再認識させられました。

さて、今年も3月1日に母校の卒業証書授与式が、厳粛且つ華やかな雰囲気のもと挙行されました。同窓会より、同窓会賞を3名（全日制2名・定時制1名）に授与いたしました。また、昭和49年卒業の先輩方をお迎えし、5年ぶりとなる「50年目の卒業式」が同時に行われました。ご参加いただきました皆様ありがとうございます。来年

は、昭和50年卒の皆様にご案内させて頂く予定ですので、よろしくお願い致します。

同窓会本部では、昨年8月に総会・懇親会が4年ぶりに盛大に開催できました。また、永年の懸案でありましたホームページのリニューアルがようやく実現できました。コンテンツについては、従来のものを踏襲しつつ、SNS等と連携し、より見やすくタイムリーな情報発信ができるように運営してまいります。また、運営会費のクレジット決済が可能になりますので、より利便性が高まると思います。より一層の、積極的なご支援をお願い申し上げます。

各支部におきましても、ほぼコロナ以前の活動状況に戻って参りました。今年も、6月2日に東日本樟樹会の総会が盛大に開催されました。そして、9月14日に松山樟樹会が、10月26日に近畿くすのき会がそれぞれ総会を開催予定です。是非ともご参加いただき旧交を温めて頂きたいと思えます。

結びに、同窓生の皆様方のご健勝とご多幸を、そして母校の更なる発展を心より祈念申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



## 校長挨拶



校 長  
ひの ゆうこ  
日野 右子  
昭和59年卒

樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から母校新居浜西高等学校に対して、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、様々な行事や大会等も制限のない形で再開され、学校にも活気が戻ってきたのを感じております。全日制・定時制ともに数多くの生徒たちが全国大会に出場するなどの活躍をしながら、校内の行事も西高生らしく全力で盛り上げてくれました。同時に、今春の卒業生の進路状況（全日制）については、国公立大学現役合格率63・5%、うち難関10大学と医学部医学科が10・7%と、非常に優れた成果を残しています。学校生活の充実が、生徒たちの一層の成長につながったのだとすれば大変うれしく思います。

さて、本年度は全日制に262名の新入生を迎えて3学年で788名、定時制には9名の新・編入生を迎えて4学年41名となり、全校生徒829名でスタートしました。少子化の影響は免れないものの、定員を下回っているこ

とに危機感を持ち、本校が地域に期待され、信頼される学校として在り続けることができよう、魅力ある学校づくりにより力を入れてまいります。

今年度は新教育課程の3年目に当たり、入試科目等もそれに対応して切り替えることは皆様ご承知の通りです。科目が変更されるだけでなく、学力を評価する規準や求められる資質・能力も、これからの時代に必要なものへと変化しています。そこで、本校ではこれまで主に進路に関する学習を行ってきた「総合的な探究の時間」を、生徒が自ら関心のあるテーマに取り組み課題研究を中心に行うこととしました。地域社会の問題や将来大学で学びたい分野の中から課題を設定し、グループで探究活動を行い、得られた成果を発表します。これによって、生徒たちの思考力・判断力・表現力を高めるだけでなく、主体的・協働的に行動する力や、学びを生活と結び付け社会に貢献しようとする意欲を育みたいと考えます。

本校では、この探究活動を支えてくださる同窓生の方を募集しております。生徒たちの研究に助言をいただける方、職場見学や体験をさせていただける方、資料提供やアンケート調査等にご協力をいただける方など、どんな形でもかまいませんので、別紙の要項に従ってご登録いただければ幸いです。今後とも後輩たちへのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

# 生

にわたり活躍されている  
するコーナーです

# 介

## Profile

昭和38年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科卒業  
平成7年11月1日～現在 おもちゃ図書館きしゃポッポ代表  
平成26年～現在 おもちゃの図書館全国連絡会副理事長  
令和5年～現在 新居浜市ボランティア連絡協議会会長



まつやま あきこ  
松山 明子

♪おもちゃ図書館きしゃポッポのあゆみ(主な受賞歴)  
平成19年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞  
子育て支援部門、内閣総理大臣賞  
令和4年度 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

## 今年こそ、いつしよに 25回目のクリスマス会を...

今年の3月中旬のこと、わが家の前の道路を大勢の若者たちが西に向かって歩いていました。一体何事かと西に目を遣ると、西高の門の所に大勢の人が集まっています。ああ、今日は高校入試の発表日だ、若者たちの嬉しい人生の旅立ちに心からエールを贈りました。

その時、ふと自分の高校時代を思い出しました。

当時の校舎は木造の大きな2階建て、歩くときとコツコツと音がし、掃除の際には油引きをしていました。在校中の昭和38年には体育館が完成し、校舎は卒業後の昭和43年に鉄筋4階建てになり、さらに平成28年に今の校舎になりました。私は幸い新居浜にずっと住んでいるので、校舎の変遷をずっと見守ることができました。

すでに卒業して半世紀以上の時が流れましたが、有難いことに西高とのつながりは今も続いています。それは、インターアクトクラブの皆さんとのご縁です。

平成7年に私は「おもちゃ図書館」というボランティア活動に出会いました。その活動の目的は障がいのある子どもさんが安心して地域の子どもさんやボランティアさんと遊べることです。新居浜市が場所を提供し、活動は市民が担うという協働の活動です。

平成8年4月6日に私たちの「おもちゃ図書館きしゃポッポ」は開館しました。「責任と情熱を大事に」そして「社会とつながること」を大切に子どもたちの幸せを願っています。

てコツコツと進み始めました。

その年の秋、クリスマス会を開催したいとあれこれ考えていた時に、西高インターアクトクラブの生徒たちが参加を申し出てくれました。当日は、ハンドベルの演奏を披露し、キーキや飛び切りの笑顔をプレゼントしてくれました。これがきっかけになり、2回目は「インターアクトクラブが参加するのであれば、合唱部も吹奏楽部も参加しましょう」と言っていたら、活動の輪が大きく広がりました。このイベントはこれまで24回開催され、毎年西高の生徒さんと一緒に子どもたちは楽しいクリスマスの一ひと時を過ごしています。

嬉しかったのは子どもたちだけではなく、私たちボランティアにとっても大きな喜びがいっぱいありました。大学卒業後、先生になって生徒さんと一緒に参加してくれた人もいました。親になって子どもを連れて参加してくれた人もいました。「西高生の時、きしゃポッポのクリスマス会に参加し着ぐるみを着て、本当に楽しかった」とのお話や男子生徒が小さな子どもを抱っこして交流している様子を目にした時は、胸が熱くなり、みんなが幸せを実感しました。小さなイベントが、希望をつないでいることに心から感謝しています。

令和2年からは新型コロナウイルス流行で開催できず、令和4年1月にあかがねミュージアムで無理のない活動報告展を開催しました。この時もインターアクトクラブからクリスマス会のタペストリーのプレゼントをい



ただき、私たちの手作りおもちゃと一緒に展示しました。今年

こそは25回目のクリスマス会が開催できずようにと願っています。  
今、社会は、誰一人取り残されることのない社会を目指しています。包摂の実現には他者の多様性を尊重することが何より大事です。お互いを認め合い、人々や物事が、縦糸、横糸、ななめに織りなされ良き社会という織物が出来上がります。希望を抱き、感謝の心を忘れず、皆さんの人生百年時代をたくましく、しなやかに生きていってください。

私も心して暮らしますので、これからもよろしくお願いたしますね。



手作りおもちゃの作品集

# 同窓

文化面、産業界など各界  
同窓生をご紹介

# 紹介

## 新聞記者のやりがい

学部ではなく、就職につぶしが利きそうな法学部を目指した。そんな薄弱な動機で

南予で最大震度6弱を記録した4月17日深夜、急ぎ松山市の本社に向向いた。既に多くの社員が出社。現地や愛媛県の災害対策本部などを取材して送られてきた地震関連原稿をチェックし、締め切り間際の紙面に組み込む作業や愛媛新聞オンラインでの速報配信に取り組んでいた。

報道機関の活動は24時間、365日。やりがいがあると自信を持って言える。いざという時は可能な社員が予定を変更し業務にあたる。ただ、育児や介護への配慮をはじめワークライフバランスがより重視される昨今、仕事のカバリの在り方にはさらなる工夫が求められる。

西高時代の記憶をたどると、どんな職業に就きたいかはまだイメージできていなかった。歴史が好きだったので2年進級時に文系を選んだが、大学では勉学に打ち込みそうもなかったため進学先は史学科のある文

進んだ大学で就職先を考えた時、元々在野でやりたい希望を持っていた一方、商売には向いていないと自覚しており、公共性があつて組織の中でも比較的自由にやれそうな職業ということでマスコミが浮かんだ。そして、クリエイティブな才能もないのに在京放送局をディレクター職で受験するとともに、実家で朝夕刊を購読し、なじみので迷わず入社した次第だ。

まず、原稿の間違いを見つける校閲部を経て警察・司法担当に配属され、事件事故と追いつ追われつの生活を送った。印象深いのは、同僚ホステスを松山市のマンションで殺して逃亡中に整形し15年の時効直前に逮捕されドラマや小説にもなった事件。犯行時間帯を特定するため、被害者を知る複数の同僚らの話を聞こうと走り回った。

続いて東京支社で愛媛選出国会議員や各分野の愛媛出身者取材。1985年の日航ジャンボ機墜落事故では、遺体が運ばれた群馬県藤岡市で、愛媛から駆け付けた遺族の深い悲しみに触れた。本社に戻って県庁や県議会を担当後、職住一体の上浮穴支局(現・久万高原支局)に移り、また本社で警察・司法を担当した。30歳代半ばになつてい

たので、新人教育係をしながらライバルの全国紙や放送局としてのぎを削った。次の今治支社では瀬戸内しまなみ海道開通に取材を通して立ち会うことができた。その後、先輩らの原稿を確認する「デスク」業務が主となり、第一線から離れた。



話を聞くのは、つらく、応じてもらえない方が圧倒的に多い。それでもTPOを考えながら取材を試みるのは事件事故の悲惨さを広く伝え、再発防止につなげるためだ。国、県、市町を問わず政治状況の報道は国民の知る権利の実効性を確保し民主主義の支えになると信じている。記事は正確第一。取材では誠実に先方と接し、信頼関係を築くのが基本だ。しかし、癒着してしまい書くべきことが書けなくなつてはいけない。価値観が多様化する中、独りよがりの正義感も不可。複眼的視点で多面的に取材し表現に細心の注意を払って記事にすることを心掛けてきた。物事の善悪は単純でなく、批判記事を書く場合に対象者から反論を聞くのもセオリーだ。

スマートフォン全盛で新聞を読まない人が増えている。だが、玉石混交、真偽ないまぜの情報が飛び交うネット社会で、新聞社の発信する記事の信頼性が高いことは各種調査が裏付けている。デジタルの便利さだけでなく、一貫性や認知面での優位性といった長所を持つ紙の新聞の良さにも注目してもらえよう努力を続けるつもりだ。

## Profile



かとう れいし  
加藤 令史

昭和51年 愛媛県立新居浜西高校普通科卒業  
昭和51年 東京大学教養学部文科一類入学  
昭和55年 東京大学法学部卒業  
昭和55年 愛媛新聞社入社  
平成17年 編集局政治部長  
平成20年 地方部長  
平成21年 編集局次長兼社会部長  
平成23年 取締役編集局長・編集委員室長  
平成26年 常務取締役編集局長・編集委員室長  
常務取締役地域読者局長、営業局長などを経て  
令和5年 専務取締役  
令和6年 代表取締役社長



# の 歩 み

## ハンドボールに出会えて

ハンドボール部 主将 かみ 賀上 あきひろ 晃啓



皆さんはハンドボールというスポーツをご存知ですか？日本ではあまりなじみのないマイナースポーツとして位置づけられていますが、海外ではメジャーなスポーツで、特に欧州ではサッカーに匹敵するほど人気があります。ハンドボールの魅力は、息つく暇もないスピーディな試合展開、「空中の格闘技」と表される激しいボディコンタクト、そして高度な戦術です。「走る」「飛ぶ」「投げる」といったスポーツの三大要素の全てを必要とする、「アスリートスポーツの極み」です。チャンスがあればぜひ観戦して頂きたいです。

このようなハンドボールの魅力に引き込まれた私たちは、選手22名と、マネージャー6名で日々練習に励んでいます。選手のほとんどは高校からハンドボールを始めた未経験者で、ルールを覚えることからのスタートでした。私自身も、中学時代まで野球部に所属していたので、ボールを握ったり、投げたりすることに慣れていませんでしたが、ハンドボールは大きく、重いので、小柄で手も小さい私には握ることすら難しく、入部当初は上手くボールを扱えず、この先やっていけるのか不安でした。しかし、毎日の地道なトレーニングにも一生懸命に取り組んだことよって、筋力やスタミナも少しずつついてきました。また、顧問の先生方の熱心なご指導により、技術面も向上し、できるプレーも多くなってきました。

「昨日までできなかったことが今日は出来た！明日はもっと上手くできるよになりたい！」という気持ちで練習にも前向きに取り組めるよ

うになり、今ではボールも自在に扱えるようになってきました。

また、私たちのチームの最大の武器は、部員同士とても仲が良いということです。学年関係なく、いい部分、悪い部分を互いに指摘し合えるほど仲が良いので、これも練習に集中できる大きな要因であると言えます。自分が主将となつてからは、自分の技術面だけでなく、チーム全体のことを考え、まとめなければならぬというプレッシャーも重なり、しんどい時期もありました。そんなときも、いつも近くには仲間がいてくれて、支えてくれました。今では、各々が課題を見つけ、自主的に練習に取り組む雰囲気も出てきて、少しずつチームが一つにまとまり始めました。

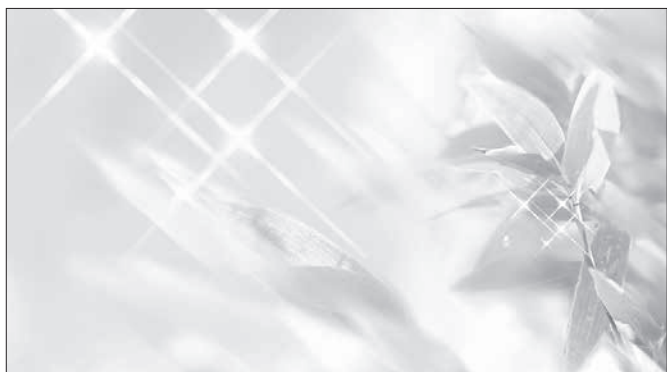
そんな練習の成果もあり、昨年度の県新人大会では1点差で勝利し、ベスト8に入ることができ、十数年ぶりに県選抜大会に出場することができました。冬の1年生大会でも3位に入ることができ、勝つことの楽しさを味わえるようになってきました。次の大会では、さらに上位の成績を残すことができるように、残り少ない部活動生活を精いっぱい頑張りたいと思います。

夏休みにはハンドボール部のOBの方々が来てくださって、OB戦を開催することができました。たくさんご指導いただけただけでなく、ハンドボールを思う存分やりきってほしいと伝えてくださいました。先輩方が苦しんだコロナ禍による制限が昨年ようやく緩和され、私たちは思う存分ハンドボールをすることができています。そのありがたい状況に

改めて感謝するとともに、毎日切磋琢磨しながら共に頑張っている仲間、どんな時にもサポートしてくれる家族、忙しい中、熱心にご指導下さる顧問の先生方には、心から感謝しています。

私たちハンドボール部員は、一人でも多くの方にハンドボールの魅力をお伝えたいと思っています。なぜなら、私たち部員が心からハンドボールを楽しんでいるからです。そのなかで、チームを盛り上げ、引っ張っていくのがキャプテンである私の役目だと思っています。最後まで全力を尽くし、西高と言え「ハンドボール部」と言ってもらえるような部活となるように、私たちが後輩へとバスを繋いでいきたいです。

ハンドボールに出会えたことは、私にとって一生の財産です。



# 部活動



## ご迷惑をおかけしました。

やまうち いおり  
演劇部 部長 山内 伊織

波乱の1年を過ごしました、演劇部です。今でこそ6人で活動していますが、去年の部員構成は3年生3人、2年生は私1人、1年生も1人という廃部危機状態でした。人数が足りなくて演出に力を注げない、劇の幅も広がらない。でもそれは演劇をしない理由にならない。3年生の引退からいきなり崖っぷちだった私たちは、どうにかこうにか県高文祭で努力賞を得ましたが、それも多大なご迷惑のもとに成し遂げたことでした。

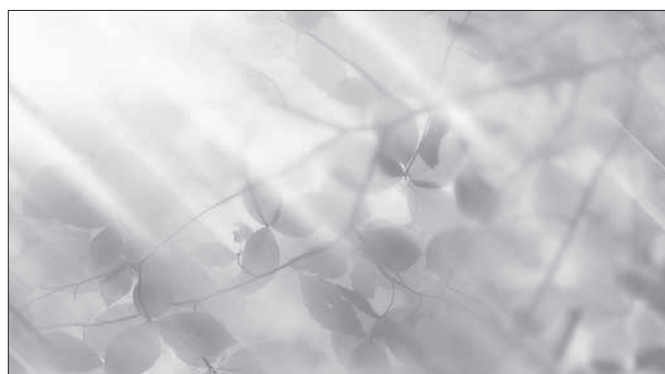
西高祭が終わり、期末考査も終わり：部活の時間です。西高祭ではクラスの出し物に全力を注いでいたので、部活に顔を出していませんでした。つまり、たった1人の後輩と2人で喋るのはこれが最初。私は大変緊張してしまっ、記憶すら曖昧です。後輩は私がそれまであまり関わったことのないタイプで、何を話しているのかわからない、何を話しているのかわからない。演劇の楽しさは伝わっていないのか、いや、伝わっているはずがない。だってこんなのがたった1人の先輩だ。演劇部を続けたいと思ってくれているだろうか。無理をさせていけないだろうか。私はもう不安で不安で、かなり悩んでいたのを覚えています。2人で初めて挑んだ高文祭地区予選はギリギリ突破して、県大会に出場できることになったけれど。好きな舞台に影響されて書いたオムニバス形式の脚本は、2人で演じるには厳しく、セリフが飛びやすい、時系列が分かりにくい、会話に抑揚がない等：憧れを追い求めるあまり、後輩も、助っ人として演出を担当してくださいました先生や後輩の友達を振り回してしまいました。



が、言いたいことは伝わったようで、なんとか表彰台へ。努力賞に呼ばれた時、後輩と交わしたグータッチが元気づけてくれた気がしました。もしかししたら、大根役者の先輩でも後輩に残せたものがあるのかもしれない。

県の高文祭で戦えたのは、私の自信に繋がりました。でも、それは多くの人に支えられてきたからこそできたことです。先生、友達、親、後輩。脚本を考えるとところから大会後の反省会まで。私がそうだったように、後輩も取り巻く全ての影響を受けて歩いていくはず。自信のなさから振り回してしまった、かっこ悪い姿を見せてしまった、私は情けない先輩だったことでしょう。でも、悩んだら、先輩は力になります。卒業しても、いつでも呼んでください。だって『お互い様』って、そういうことですよね。

反省を活かして脚本は全く新しいものに変える事になった、県大会。私は脚本を書き終えられず、締切当日まで顧問の先生にご迷惑をお掛けしました。その後の練習でも台詞を覚えられない、単純に演技が大根などといったポンコツさを見せ、情けない限りです。相変わらずその時の私は後輩に対して遠慮や緊張があり、先輩ぶることに必死でした。そんなこんなで大会当日。台風の接近によって2日間の日程を1日に短縮し、全ての公演はもとの1時間から45分に短縮されました。ここぞとばかりに覚えきれなかった台詞を短縮、短縮、短縮：ここまでできてようやく、私たちの舞台はかろうじて見せられるものになりました。そして本番。渾身のギャグたちは前代未聞の滑りを見せました



# 部活動結果報告

## ●● 第78回愛媛県高等学校総合体育大会 結果 ●●



### バドミントン、ウェイトリフティング インターハイへ

第78回愛媛県高等学校総合体育大会が、6月1日(土)～3日(月)まで3日間にわたり開催されました。本校からは総勢236名の選手が参加し、各会場において熱戦を繰り広げました。主な結果は以下の通り。



#### 【陸上競技】

##### 男子

総合	11位
トラック総合	10位
フィールド総合	21位
800m	西野永遠 2位(四国総体出場)
1500m	西野永遠 3位(四国総体出場)
5000m	三宅海士 7位
4×100mR	坪井滉真・横井大輝・篠原良佑・成松泉輝 7位
4×400mR	坪井滉真・西野永遠・宗次拓己・富永爽楽 8位
走幅跳	富永爽楽 10位
三段跳	篠原良佑 15位
ハンマー投	宇根由悟 8位
八種競技	成松泉輝 4位(四国総体出場)
八種競技	下鳥心輝 9位

##### 女子

3000m	渡邊未菜 12位
3000m	新上知佳 15位
3000m	鈴木来弥 19位
走幅跳	越智唯愛 24位
七種競技	篠崎温菜 12位

#### 【バスケットボール】

##### 男子

1回戦	新居浜西 81-55	吉田
2回戦	新居浜西 51-132	松山工業

##### 女子

1回戦	新居浜西 93-52	松山中央
2回戦	新居浜西 71-86	松山聖稜

#### 【バレーボール】

##### 男子

1回戦	新居浜西 0-2	三島
-----	----------	----

##### 女子

1回戦	新居浜西 0-2	三島
-----	----------	----

#### 【バドミントン】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西 3-1	松山東
2回戦	新居浜西 3-0	新居浜工業
3回戦	新居浜西 0-3	松山南
		ベスト8

##### 男子ダブルス

永倉修翔・國田脩造 1回戦

##### 男子シングルス

國田脩造 1回戦

##### 女子団体

2回戦	新居浜西 3-1	宇和
3回戦	新居浜西 3-0	松山中央
準決勝	新居浜西 0-3	新田
3位決定戦	新居浜西 3-0	新居浜南
		3位(四国大会出場)

##### 女子ダブルス

鈴木菜夏・片岡優依 3位(四国総体出場)

野村向菜・福田莉子 1回戦

大澤友香・酒井里彩子 1回戦

##### 女子シングルス

鈴木菜夏	2位(インターハイ出場)
片岡優依	ベスト8
野村向菜	1回戦
福田莉子	1回戦

#### 【卓球】

##### 男子団体

(越智琥珀、矢野理久、高田優斗、横山達也、塩見純太、森田大翔、植田安登睦)		
1回戦	新居浜西 3-0	三崎
2回戦	新居浜西 3-1	伊予農業
3回戦	新居浜西 0-3	松山北
		ベスト8

##### 男子個人ダブルス

越智琥珀・塩見純太 ベスト16

##### 男子個人シングルス

進藤憧龍	1回戦
植田安登睦	2回戦
越智琥珀	2回戦

##### 女子団体

(國峯美智、福原蓮、山本椿姫、高橋和奏、寧、青野心菜、佐藤朱音、伊東愛未)		
1回戦	新居浜西 1-3	松山商業

##### 女子個人ダブルス

國峯美智・山本椿姫 1回戦

##### 女子個人シングルス

國峯美智 2回戦

#### 【ソフトテニス】

##### 男子団体

1回戦 新居浜西 1-2 宇和

##### 女子団体

1回戦	新居浜西 2-1	南宇和
2回戦	新居浜西 0-2	川之江
		ベスト16

#### 【テニス】

##### 男子団体

(堀之内悠太・永井翔・秋山樹・大岡龍司・山林太一)

1回戦	新居浜西 3-0	北宇和
2回戦	新居浜西 2-0	東温
3回戦	新居浜西 0-2	松山学院
		ベスト8

##### 男子個人ダブルス

堀之内悠太・永井翔 1回戦

##### 男子個人シングルス

堀之内悠太 1回戦

##### 女子団体

(石川陽毬・山下舞・酒井愛依・福田早紗・青野くるみ)

1回戦	新居浜西 2-0	今北大三島
2回戦	新居浜西 0-2	八幡浜

##### 女子個人ダブルス

石川陽毬・山下舞 1回戦

#### 【ハンドボール】

1回戦 新居浜西 13-21 松山北

#### 【サッカー】

1回戦 新居浜西 1-1 八幡浜工業 (PK 2-3)

#### 【剣道】

##### 男子団体

1回戦	新居浜西 4-0	松山西中等
2回戦	新居浜西 2-0	八幡浜
3回戦	新居浜西 1-3	済美
		ベスト8

##### 男子個人

塩出大輔 3回戦  
石川煌汰 1回戦

##### 女子団体

2回戦 新居浜西 0-2 松山東雲

##### 女子個人

土岐初音 1回戦  
近藤咲妃子 1回戦  
鈴木李佳 1回戦

#### 【弓道】

男子団体 予選第9位 予選敗退

男子個人 曾我部俊祐 予選敗退

寺岡歩輝 予選敗退

##### 女子団体

予選第6位

##### 準決勝リーグ戦

①新居浜西 ×8中-15中○西条

②新居浜西 ×8中-12中○松山南

③新居浜西 ×9中-11中○今治西

0勝3敗 ベスト8

##### 女子個人

細川美織 決勝進出 第4位 (四国大会出場)

小野夢音 決勝進出 第7位

#### 【創作ダンス】

テーマ「春廻」 17位

#### 【新体操】

矢葺希音 リボン15位 クラブ16位 総合16位

#### 【ウェイトリフティング女子】

秦萌々菜 1位

トータル155kg

(四国大会・インターハイ出場)

#### 【フェンシング】

男子フルーレ 山本逞真 ベスト8

#### 【水泳】

400m個人メドレー 白澤航 7位(四国総体出場)

200m個人メドレー 白澤航 8位(四国総体出場)

100m自由形 金田浩聖 1位(四国総体出場)

200m自由形 金田浩聖 1位(四国総体出場)

※大会新記録樹立

##### 4×100mフリーリレー

金田浩聖・福田英寿・白澤航・大滝陽平

7位(四国総体出場)

##### 4×100mメドレーリレー

金田浩聖・福田英寿・白澤航・大滝陽平

8位(四国総体出場)



●● 文化部 大会結果 ●●

放送、写真、書道 全国大会へ

【文芸】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭

詩部門

金丸葉南 優秀賞  
鈴木果乃 奨励賞  
廣瀬このん 藤原勇雄 森元遥香

散文部門

藤田理子 廣瀬このん 鈴木結衣  
藤原勇雄 安永すみれ

俳句部門

藤田理子 廣瀬このん 鈴木結衣 藤原  
勇雄 森元遥香 寺田妃利 安永すみれ

【放送】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭放送部門

ビデオメッセージ部門

「かんからから」優秀  
(第48回全国高等学校総合文化祭出場)

朗読部門 村上かれん 優秀

(第48回全国高等学校総合文化祭出場)

稲見玲奈 奨励

第19回愛媛県高等学校放送コンクール新人大会

アナウンス部門 山路結華 優良

朗読部門 稲見玲奈 優秀

村上かれん 優良

菊澤昌史 優良

第63回愛媛県高等学校放送コンテスト 総合優勝

朗読部門 稲見玲奈 優良

アナウンス部門 山路結華 優良

創作ラジオドラマ部門「解釈違いです!!!」 優良

創作テレビドラマ部門「春の色は」 優秀

(第71回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)

ラジオドキュメント部門

「空飛ぶ車いす」 優秀 (第71回NHK杯  
全国高校放送コンテスト出場)

テレビドキュメント部門

「ジレンマ」 優秀 (第71回NHK杯全国  
高校放送コンテスト出場)

【自然科学】

えひめサイエンスチャレンジ2023

一般部門出場 (物理部)

【写真】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭写真部門

「フラッシュバック」 鈴木奏人 優秀  
(第48回全国高等学校総合文化祭出場)

「命託して」 井野桃子 奨励

第36回愛媛県高等学校文化連盟写真展

「余情」 星田光志 最優秀賞

「華麗にフィニッシュ」 井野桃子 優秀賞

「夜明けまで」 西原湖陽 奨励賞

「団長魂」 越智華音 奨励賞

「華の街」 山中涼平 奨励賞

「悠久に生きて」 今津こほな 専門部賞

「恋愛成就!？」 梶島采奈 専門部賞

【吹奏楽】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭 参加

【美術】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門

「ミクロコスモス」 加藤瑠那 奨励賞

【書道】

第62回愛媛県学生書道展

宮川和奏 読売新聞社賞

日田千遥 梶谷さくら 市位朋花 秀作

福島翠夏 大倉一華 藤田いろ葉

矢野心優 田窪詩 泉陽愛 三好ひかる

森田結愛 入選

第17回書道パフォーマンス甲子園四国ブロック予選

2位(第17回書道パフォーマンス甲子園本戦出場)

【演劇】

第37回愛媛県高等学校総合文化祭演劇部門

発表会 努力賞

【囲碁・将棋】

第48回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会

男子個人戦 2名出場

薦田修斗 5位 藤田晴波 9位

交流戦 2名出場

好中陸翔 1位 原田晴 2位

第48回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会

男子個人戦 7名出場

好中陸翔 ベスト8

片上周 ベスト8

女子個人戦 1名出場

樋口凜 4位

第48回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権

大会愛媛県大会

男子団体戦

新居浜西

(薦田修斗、藤田晴波、原田晴) 2位

第1試合 新居浜西0-3 松山東

第2試合 新居浜西2-1 松山工業

男子個人戦 4名出場

好中陸翔 3位 藤田晴波 8位

薦田修斗 9位 原田晴 11位

初級者大会 男子3名女子1名出場

●● 令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会愛媛県予選会 結果 ●●

陸上競技、卓球、バドミントン 全国大会へ

【陸上競技】

男子

100m 越智歩夢 2位(全国大会出場)

200m 越智歩夢 2位(全国大会出場)

小野春樹 3位(全国大会出場)

400m 小野春樹 1位(全国大会出場)

800m 伊藤脩汰 1位(全国大会出場)

走り幅跳び 越智歩夢 2位(全国大会出場)

小野春樹 3位(全国大会出場)

三段跳び 伊藤脩汰 1位(全国大会出場)

【卓球】

男子団体(リーグ戦) 1位(全国大会出場)

新居浜西 3-0 松山南

新居浜西 3-1 未来松山

男子個人シングルス

下西貴大 1位(全国大会出場)

越智椋樹 3位(全国大会出場)

佐藤雄大 3位(全国大会出場)

南部隼門 2回戦

秋月敬心 2回戦

政石光希 3回戦

鈴木優翔 1回戦

女子団体2位

新居浜西 1-3 未来松山

女子個人シングルス

星田愛 3位(全国大会出場)

岡部優羽姫 2回戦

春山乃絵瑠 2回戦

岩崎和奏 1回戦

【バドミントン】

男子個人ダブルス

河村明日翔・森本佑希 2位

男子個人シングルス

田村海斗 ベスト8

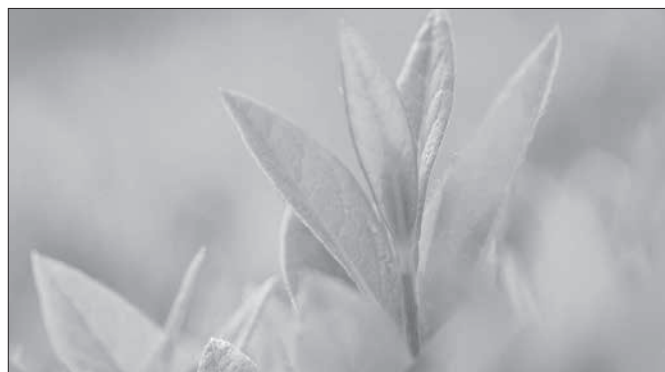
山下達輝 ベスト8

女子個人ダブルス

谷口結愛・森賀璃美 1位  
(全国大会出場)

●● 令和5年度第61回愛媛県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 結果 ●●

伊藤脩汰 「自分の今までの判断に感謝」 努力賞



# 母校の概況

Nihama-Nishi High School

## ▼教職員の異動

### 《転出》

教頭	眞鍋帰久文	退職(今治南)
教頭	合田 明典	丹原校長昇任
国語	上甲 啓介	吉田
国語	大政 麻由	新居浜特別支援学校川西分校
国語	河野 靖典	小松
国語	眞鍋亜希子	丹原
地公	石川 和生	退職
地公	赤壁 一彦	退職
数学	清川 正義	今治西高校専任
数学	小池 良太	西条農業
理科	浅野 迅矢	川之石(新採)
保体	福田 克典	西条
保体	三谷 政史	川之江(教頭昇任)
芸術	橘木 葵	退職
芸術	白石 貴義	退職
主任	山西 真央	川之江北中
主任	渡邊 一郎	小松
学校補助員	西岡 芳実	退職
《転入》		
教頭	日野 親雄	今治北
国語	脇 明子	土居
国語	得丸友梨香	新採
国語	横田 陸	川之江
地公	佐光 正志	西条

## ▼同窓の教職員

(氏名) (卒業年) (教科等)

数学	益田 誠治	今治南
数学	兵頭 祐衣	新採
理科	武田 大河	小松
理科	山崎 達弥	八幡浜
保体	児玉 信也	三島
保体	國政 隆吾	新採
芸術	大山 夏和	新居浜南
芸術	住友 泰子	新採
主事	渡部 結衣	新採
主任業務員	河渕 英明	小松
学校補助員	曾我部笑果	新採
教育業務支援員	前田 陽子	新採
甲斐 誠	昭和50	数学
亀尾 千春	昭和53	教育活動サポートチーム支援員
藤田 利架	昭和56	英語
渡辺 一生	昭和56	ICT教育支援員
鈴木 一宏	昭和58	保体
日野 右子	昭和59	校長
五味 稔	昭和61	数学
塩崎 美都	昭和63	国語
宮崎 真紀	平成3	国語
清水 靖二	平成4	国語
藤原 彩	平成9	英語
永井 瑞樹	平成13	理科
山崎 達弥	平成30	理科

## ▶大学合格一覧

最近3か年の総合格者と、大学別合格者の一部を紹介(過年度生を含む)

	3年	4年	5年
国公立大	141	140	173
私立大	391	422	388

	3年	4年	5年
北海道大	1	0	3
東京大	1	0	0
名古屋大	0	1	2
京都大	1	0	1
大阪大	4	9	7
神戸大	4	2	7
岡山大	20	15	22
広島大	6	5	10
愛媛大	38	29	30
九州大	5	2	8

## ▶年間行事予定

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月											
19	20	18	8	20	28	16	31	7	6	30	10	1											
28	16	31	7	6	30	10	1	28	19	4	27	12											
3学期卒業式	全日制卒業式・定時制卒業式	学年末考査(27日)	大学入学共通テスト(19日)	3学期始業式	2学期終業式	2学期期末考査(12月4日)	県高校総合文化祭(17日)	定時制運動会	1・3年生2学期中間考査(10日)	2年生修学旅行(9日)	2年生2学期中間考査(10月3日)	全日制運動会	定時制・通信制県総合体育大会	2学期始業式	1学期終業式	西高祭(第2日目)	1学期期末考査(7月3日)	西高祭(第1日目)	県高校総合体育大会(6月3日)	1学期中間考査(17日)	PTA総会	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式	行事



## 新居浜の動き

Hello!  
NEW

# 新居浜

### 新居浜市西部学校給食センターが 完成しました

新居浜市では、昭和22年にミルク給食を開始して以来、昭和30年代には、小学校でご飯やパンの主食と、おかずの副食を含めた完全給食となりました。その後、平成13年には、瀬戸町に完成した学校給食センターが運用開始され、市内の全ての小中学校で学校給食が提供されています。

しかしながら、各小学校の調理場の多くは昭和50年代に建設されており、老朽化が著しく、学校給食施設の改修などが検討されておりましたが、市内王子町に西部学校給食センターが建設され、6月2日に落成式が執り行われました。

西部学校給食センターは、事業費約32億7千万円、敷地面積約9,563㎡、延床面積約4,024㎡であり、四国でも



より安全で安心な給食をお届けします

問合せ 学校給食課

☎0897-47-5112

最大級の7,100食の調理能力を有し、全国1,439点の応募の中から愛称が「はまっこ給食センター」と決定しました。これははまっこ給食センターが完成したことにより、今年の2学期より、新居浜市学校給食センターとの2施設において、市内の小中学校（別子小中学校、船木中学校及びびき分校を除く）25校、愛媛県立新居浜特別支援学校及び川西分校へ今まで以上に安全で安心な給食が提供されるようになります。

今回、学校給食がセンター化されることにより、現在各小学校で使用されている「給食室」については、備蓄倉庫及びその作業場に様変わりし、児童が給食を取りに来る「配膳室」としても使用する予定です。

### 国道11号バイパス、 県道新居浜港線が開通しました



市民待望の道路が開通しました

昭和62年度から事業が開始されている国道11号バイパスですが、4月29日に西喜光地町から本郷一丁目までの1.1kmが開通しました。今回の開通により、国道11号の通行量がバイパスへと分散されることにより、更なる渋滞緩和と交通安全性の確保がされるとともに、松山自動車道と市内中心部へのアクセス性の向上に伴う、物流の効率化による地域産業の活性化につながることを期待されます。

この区間の開通により、未開通区間は東田三丁目から船木の国道11号との接合部分までを残すのみとなりました。

同日、合わせて県道新居浜港線（都市計画道路路西町中村線）のバイパス区間のうち、本郷一丁目から政枝町三丁目の滝の宮橋南

詰までの約540mが開通しました。

このバイパス区間は、JRR予讃線と平面で交わってしまうことのないよう、地下を通過させるアンダーパスが採用されており、これまで、国道11号バイパスの交差点と近接していた横水踏切での踏切渋滞の解消や、安全性の向上が見込まれるほか、国道を含めた道路ネットワークの創出による利便性の向上が図られました。

また、両道路の開通に先立ち、4月21日には開通イベントとして国道バイパスと県道をウォーキングするイベントが開催され、本郷太鼓台も参加し、花を添えました。

両道路の一日も早い全線開通が待ち望まれます。



見事なかきっぷりで、バイパスの開通をお祝いました



## これからもよろしく

鈴木 一宏（昭和58年卒）

西高の濃厚な授業が終わる。

「キーンキーンキーンキーン： キーンキーンキーンキーン」

そそくさと野球のユニホームに着替えて、グラウンドに向かう。

「ちよつと体がだるいけど。まあ気に入って、やるか」

高校当時と同じような放課後を過ごすのは、まもなく還暦を迎える今の私である。現在母校の保健体育科教諭で、野球部監督をしている。

私が西高に入学当時は随分と寂しかった。新入生360名中、母校の船木中からはたった4名、当然1年G組には私一人であった。弁当を食べるときは、多くの知り合いがいる西中や北中などを羨ましく思った。結局独りぼっちで食べていた3人がしばらくの間一緒に食べた。土居中のO君、泉川中のK君、覚えているかなあ。ありがとう。

この年の1年G組は学力優秀で、T君、M君は3年後東大合格。もう一人のM君は一橋。担任の藤井先生は、生活指導、とりわけ遅刻には厳しかった。出席簿を用いて我々は時々躰けられた。大洲の宿泊研修で遅刻したS君の顔は衝撃的であった。

放課後は野球をした。西高でやりたかった。恩師である岡田監督就任後、秋の愛媛県4強。練習は短時間集中中の野球

部で、ボール集めや準備・片付けがとにかく早かった。練習中の休憩時間はほとんど無く、水分補給の習慣も無し。したがって、2時間余りの練習でも、1年の頃はかなりきつかった。練習後に自転車帰宅中、道路端で休憩することもあるくらい。ただ、水を飲めない当時の練習のため、必要以上練習前に給水し、腹をチャポチャポさせながら練習していたアホな自分のことを思い出し、ほっこりする。

1年の夏は1、2回戦を勝利し3回戦敗退。2年の夏は投手として、1回戦0-1の敗退。炎天下の中、松山球場のマウンドで投げ続けた。一滴の水も飲まず。相手の戦い、さらには喉の渇きと

の戦いだった。3年最後の夏は、松山球場、開会式直後の第1試合。相手は松山商。「高校野球精神にのっとり正々堂々と試合することを誓います」

1番くじを引いた我が西高野球部の主将S君が力強く選手宣誓をした。さあ、試合開始。マウンドに上がるのは長身の右上手投手の私。相手はノッポマシン（台の上にマシンを乗せてボールの出口を高く設定したマシン）相手に打撃練習を積み重ねた松山商打線。3塁側を埋め尽くした松山商大応援団が目映る。

1塁側は我が同級生たち。ピッチャー鈴木、大きく振りかぶって、第1球投げました。雨で1日順延し、なおも小雨の降る中行われたこの夏の開幕試合。無我夢中だった。終わってみれば、コツコツと1点ずつ失い、1-5で敗戦。この夏、愛媛で最初に散ったのが私たち西高野球部だった。

「初球から振っていけ。打つために振り込んできたんぞ」「ナイスピッチング。よく投げたぞ」「暗い顔をするな。まだ終わってないだろう」「よし。よく辛抱した」今は監督として、生徒たちを日々叱咤激励している。そして様々な逆境を乗り越え、逞しく成長した彼らの姿を見るとき、心が躍り幸福感に満ち溢れている私がそこにいる。西高、そして野球部が、昔も今も随分と私の人生を豊かにしてくれている。

同期会も5年ぶりに開催されるかなあ。皆の髪やお腹はどうなつとるかのう。そんなふざけたことを考えられるのも、西高で良かったと心底思っているからかな。

この頃、野球のユニホーム姿で、体育館の女子バドミントン部の練習風景を歩きながら眺めたりする。いや、眺めているというよりは誰かを探しているのだが。わが老眼のピントの先には、今年3年になった愛娘がいる。ああ、これからもよろしくお願ひします。新居浜西高校。



現在指導中の部員たち



# 本部だより

「4年ぶりの総会・懇親会」

令和5年8月5日、レイイグラッツェフにて総会・懇親会が開催されました。初めて事前登録制で参加を募ったところ、およそ100名の方が足を運んでくれました。懇親会では以前のよう賑やかで和気あいあいとした宴が催され、最後に校歌を斉唱し、来年の再会を約束して散会となりました。



## 令和6年度 総会および懇親会のご案内

日時 令和6年8月3日(土)  
 総会および懇親会  
 受付 17:30 ~ / 時間 18:00 ~ 20:30  
 場所 リーガロイヤルホテル新居浜  
 新居浜市前田町6-9 TEL 0897-37-1121  
 会費 5,000円(一般会員)  
 2,500円(平成29年以降卒業会員)  
 ※申し込みは、7月26日までをお願いします。

ご不明点などがありましたら、事務局へお問い合わせください。

## 樟樹会運営会費納入のお願い

これまでの郵便振替に加え、今後はクレジットサイトからオンラインでお支払い頂けるようになります。  
 ※現在、このサイトの開設準備を進めています。  
 (開設は9月1日の予定)

樟樹会は会員の皆様からの会費によって運営されております。会員交流、生徒支援の活動継続のため、事情ご賢察の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## ホームページがリニューアル

樟樹会ホームページのQRコードを掲載いたしましたので、是非ご覧ください。



## 令和6年度 樟樹会事業計画(案)

月日	会合名	事業内容
4月1日	第1回樟樹編集委員会	「樟樹」35号印刷所承認・概要相談
4月9日	会計監査	令和5年度会計帳簿類
4月15日	第2回樟樹編集委員会	「樟樹」35号原稿依頼先及び担当者決定
5月8日	第1回執行役員会	令和5年度事業報告案・会計決算監査報告案 令和6年度事業計画案・予算案・役員改選 同窓会入会記念品と同窓会賞について 令和6年度総会・懇親会開催について・その他
5月13日	第3回樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月20日	第4回樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月27日	第5回樟樹編集委員会	校正
5月29日	第1回理事会	第1回執行役員会と同内容
6月2日	東日本樟樹会総会	本部から会長・副会長が参加
6月6日	第6回樟樹編集委員会	最終校正
6月12日	西高祭(第1日目)	西高どら焼き販売→バザー収益金を生徒会へ贈呈
6月14日	第2回執行役員会	令和6年度総会・懇親会開催について・その他
6月26日	第2回理事会	第2回執行役員会と同内容
7月4日	西高祭(第2日目)	西高どら焼き販売→バザー収益金を生徒会へ贈呈
7月15日	会誌「樟樹」35号発行	
8月3日	総会・懇親会	活動報告と意見交換 (会場:リーガロイヤルホテル新居浜)
9月14日	松山樟樹会総会	本部から若干名が参加予定
10月26日	近畿くすのき会総会	本部から若干名が参加予定
1月下旬	第3回執行役員会	今年度の反省及び次年度の予定・ 各会計中間報告・その他
2月上旬	第3回理事会	第3回執行役員会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品を贈呈
3月1日	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制・定時制)
3月1日	50年目の卒業式	昭和50年3月卒業会員を招待
備考 “くすのき文庫” 学校図書館に文庫本を贈呈		

## 令和5年度 樟樹会一般会計収支決算書

令和5年4月1日~令和6年3月31日

項目	5年度予算額	5年度決算額	備考
前年度繰越金	3,818,702	3,818,702	
収入の部			
入会金(全日制)	2,597,100	2,504,700	759人×3,300円
入会金(定時制)	79,200	69,300	7人×9,900円
運営会費	1,000,000	518,000	154件 1口 3,000円から
賛助会費	500,000	500,000	46件 1口 10,000円から
雑収入	300,000	297,741	名簿販売・チャリティーバザー売上・預金利息
収入合計	8,295,002	7,708,443	
支出の部			
会合費	400,000	397,000	
慶弔費	50,000	10,000	銭別
人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
事務費	100,000	67,950	事務機器の保守点検契約料他
同窓会賞	20,000	16,500	全日制2名 定時制1名
入会祝	350,000	269,676	全日制・定時制 卒業生へ記念品
支部活動費	200,000	177,500	各支部行事への参加他
旅費	300,000	190,000	各支部行事への参加に掛かる旅費
生徒への補助金	550,000	405,000	全国大会出場補助・バザー収益金を寄付
その他の事業費	400,000	542,027	高校野球大会広告料・くすのき文庫に文庫本贈呈 50年目の卒業式・チャリティーバザーの経費
通信費	250,000	188,091	電話代 郵送切手・葉書代
広報活動費	250,000	225,242	会誌「樟樹」購入費(事務局分)
ホームページ作成費	300,000	165,000	ホームページリニューアル
雑費・予備費	200,000	259,321	振替加入口座手数料負担他
周年事業積立金	500,000	500,000	特別会計へ(7回目)
次年度繰越金	2,985,002	2,855,136	(現金) 20,000 伊予銀行(普通預金) 1,808,238 ゆうちょ銀行(加入口座) 1,026,898
支出合計	8,295,002	7,708,443	

# 古市だより

## 東日本樟樹会

### 第16回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第16回総会と懇親会は、6月2日(日)東京都千代田区「アルカディア」私学会館にて開催されました。来賓として同窓会本部から妹尾樟樹会会長と今井副会長をお招きし、出席者は総勢で60名でした。昭和21年卒業から令和5年卒業の方まで幅広い年次・世代の同窓生が出席しました。

総会では井上会長の開会挨拶の後、事務局から昨年度の活動実績と収支報告が行われ、全会一致で承認されました。来賓の妹尾会長からは樟樹会本部の活動と近況についてご報告があり、続いて日野学校長からの総会へのメッセージを卒業同期の佐藤幹事が代読し、一同母校の思い出に浸りました。

昭和38年卒の高橋様のご発声で始まりました懇親会では、恒例の「新居浜市&西高クイズ」大会が各テーブル対抗で催され、ふるさとの新居浜弁が飛び交う中、懐かしい賞品(パン豆、万長ラーメンなど)獲得に向け、楽しいひと時を過ごしました。最後に亀岡幹事の閉会挨拶の後、出席者一同で校歌を斉唱し、懇親会を締めくくりました。

次回は来年6月1日(日)に同会場にて、第17回総会・懇親会を開催する予定です。

大澤 明文(昭和44年卒)



## 近畿くすのき会

### 第27回近畿くすのき会総会・懇親会

近畿くすのき会は令和5年10月22日(日)、ホテルグランヴィア大阪で第27回総会と懇親会を開催致しました。来賓として樟樹会本部より妹尾会長、母校の日野校長をお招きし、円卓を埋めてもあふれる11名もの同級生が集った卒業年度や30代前半の若手を含む多くの初参加者など総勢50名を超える賑やかで楽しい同窓会となりました。

総会では、会員の交流を深めるために前年より定期的に企画している「愛媛美食探訪クラブ」の現状や、メールマガジンを定期的に配信していることを曾我会長から報告し、参加を呼び掛けました。総会に続き、四国中央市土居町出身でトップソリストとして活躍のトランペット奏者、曾我部清典氏(昭和46年卒)に「新居浜と私、そして…」をテーマに講演いただきました。トランペットの演奏を披露いただきました。

次回令和6年の総会・懇親会は、10月26日(土)、ホテル京阪京橋グランドで開催を計画しております。皆が笑顔で再会し、また新たな参加者ともお会いできることを祈念しています。



常任幹事 白石 康平(平成5年卒)

## 松山樟樹会

### 令和6年度総会・懇親会の開催予定

月日 9月14日(土)  
場所 松山三越7F  
総会 17:00~17:30  
講演 17:30~18:20  
演題 「アーティスト石村嘉成の  
石村和徳氏(昭和54年卒)  
キ・セ・キ」  
懇親会 18:40~21:00

# 同期会 陣り

## 新居浜西高(WEST45)リベンジ同期会ー最終章ー

野口 仁 弘(昭和45年卒)

柔らかな日差しが公園に座って、遠くの青い山や空に浮かんだ白い雲をゆったりと眺める時が「豊かな時間」とするならば：大阪、梅田の地下街はその対局にあるように感じた。久しぶりに都会へ出て、行き交う人の波に揉まれたら目が回ってしまっただ。そんな地下の迷宮から這い出して、天空に聳える「ホテルグランヴィア大阪」20階へ。我々の最後の同期会会場だ。

新居浜ではなく、大阪で開催したのは大きな意味があった。今期で73歳を迎える「W45」。これまでは新居浜で開催していたが、少しずつ参加者数が減っていた。東京と大阪では、ミニ同期会を行っていることを知り、2つの会に便乗する形で開催して

みてはどうか：ひとりでも多くの参加を望む仲間の強い思いから、大阪での開催を決断した。

参加者58名。二次会にも8割程が参加し、旧交を温める貴重な4時半を過ごすことができた。

宴会はいたってシンプル！「新居浜西高(W45)同期会」の横断幕のみ。懐かしい写真や資料の展示はあったが、アトラクション、イベントは一切なし、ただただ談話のみ。流石73歳の西高生、熱くは語るが大騒ぎするわけではなく宴会マナーを守り、大いに盛り上がった。

実はこの会、当初2020年2月に予定していた。しかしコロナ禍で、3日前に中止を決断。幹事たちの心も折れそうになった。そんな時、強い思いを持った仲間のおかげで、4年の時を経てなんとか開催することが叶ったのである。何かをやり遂げるには、「強い意志と優秀な仲間」の両方があるければとてもできるものではなかったと思う。仲間には感謝！感謝だ。

追記 「最後にしないでまた計画して」「太鼓祭に合わせて開催して欲しい」と、いろんな意見が聞こえてきた。最後と云いながらまた仲間と計画してしまいそうな自分がある。



# 昭和50年卒同期会開催

渡辺 淳也 (昭和50年卒)

令和5年11月11日、6年ぶりに7回目の同期会を開催しました。



新型コロナウイルスの出現により延び延びになっていましたが、インフルエンザ同等の扱いになると報道された頃、県内では、まだ多数での会食が憚られる雰囲気でしたが、県外の加藤君、瀬浪さんが全面支援するから是非開催しようと申し出てくれ、地元寺村君の協力もあって、何とか準備を始めることが出来ました。

連絡が簡易に出来るようメールで行ったのですが、なかなか巧くいかず、「友達への友達は友達」で開催通知を拡げてもらった結果、54名の参加がありました。

歓談時には在校時や近況を知らせる写真の映写やライングループの紹介があったりして大変盛り上がりました。

今回は65歳を過ぎてからの開催となり、定年延長で働いていた人達も出やすくなったようで、初参加の方もあり、楽しい時間が過ごせました。

時節柄、恩師の招聘は控えましたが、元校長の佐々木君から母校の近況や卒業50年の樟樹会行事について説明があり、次の楽しみが提供されました。

# まさかもう40歳!? 記念同期会

青木 大 (平成14年卒)

「村尾氏、40になるから、同窓会しよ!!」(原文ママ)の一言から、令和5年12月30日に開催されることとなる『平成14年卒業生同期会』が動き始めました。

気が付けば、西高を卒業してはや22年。何とか実現せねばと、急遽有能幹事グループが招集され、何の因果か私もその末席に連なることに。

あらゆるコネクションを駆使し、情報化社会に感謝しながら奔走した結果、当日は38名の同期生が集まってくれました。また、メッセージを送ってくださった、担任の滝口先生、佐伯先生、山中先生、お忙しい中ありがとうございました。

会では、現役フリーアナウンサーである原田笑氏の進行の下、地元名産品セットをかけ、クイズ大会で大盛り上がり! 当時のヒットチャートや校長先生の名前を問うなど、衰えかけてきた記憶で競い合いました。あの頃のように歓声を上げたと思えば、回したマイクで

きちんと挨拶をこなすなど、20余年の月日を行ったり来たりした私たち。先生を始め、ご尽力くださった皆様、本当にありがとうございました。

もうございまして、またやりたい、と迷いなく思えたのは40歳という年齢のせいだけではないはず。みんな、また会いましょう!



# 6年ぶりの同期会

恋バナもまた楽し

高橋 彩音 (平成23年卒)

成人式から5年ごとに集まっていたが、3回目の同期会はコロナ禍のため、1年遅れての開催となりました。

2023年12月29日、平八に27名が集合。私たちは30代に突入し、落ち着きもそれなりにできてきたはずでした。でもみんなに出会ったとたん18歳にタイムスリップ。高校時代を共に過ごした仲間との懐かしい話に花が咲きます。結婚した人も増え、お相手とのなれそめを聞きながら恋バナに話が広がる女子たちも。



同期会の恒例イベントは締めめのジャンケン大会。まずは隣にいる人とジャンケン。勝った人は負けた人のスクラッチをGET。ジャンケン大会は「まだ話したことがない人とも交流を」という幹事さんのアイデアで始まり、初回から続いています。決勝戦では勝者2人が口上を述べ、注目が集まる中ジャンケン! 盛り上がりは最高に。笑顔がはじけます。

次回の開催は4年後か、5年後になるのか...。『集まりたくなったら幹事まで』とのこと。久々の集まりにはほっこりしたのでした。

# 編集後記

夕方になると万歩計をポケットに散歩に出かけます。国領川の河川敷や土手を二巡り、ふるさとの山や川からいつも元気をもらっています。

今年も同窓会誌「樟樹」を手にとってくださいから感謝を申し上げます。

本号は「つながり」「つながる」がテーマになりました。卒業後50年経って母校へ集った方々。学校の中だけでなく地域社会の人々と交流する生徒たち。つながることで世界は広がります。同窓生紹介ページの松山さんは、障がいのある人もない人も、大人も子どもも明るく楽しく前向きにつながる名人です。加藤さんは、報道の最前線でいろいろなものや事柄と私たちをつなげる活動を長くなさっています。

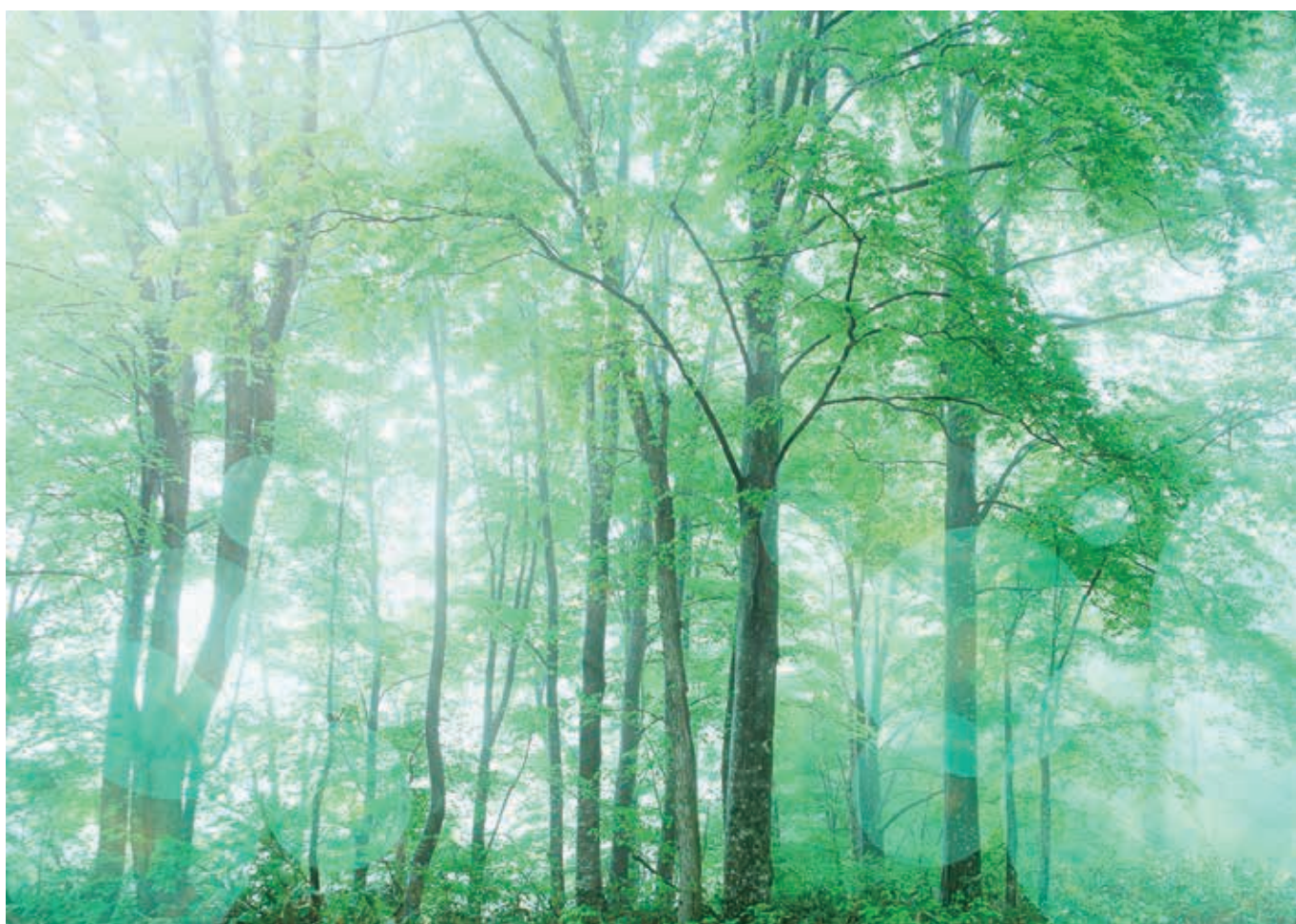
人と人、学校と地域社会、昔と今、いろいろなつながりや支えがあつてここにいるのだと改めて実感します。そしてこの会誌が同窓生同士をさらにつなぐ小さなきっかけになるといいなと思っております。同窓会誌に取り上げて欲しい事柄や情報などがございましたら是非お知らせください。これからもどうぞ同窓会誌「樟樹」をよろしく願ひ申し上げます。

- 委員長 石川美千子 (昭47普)
- 委員 近藤 信之 (昭28普) 織田 文生 (昭60普)
- 武田 司 (昭42普) 越智 孝司 (平2普)
- 近藤 博司 (昭44普) 清水 靖二 (平4普)
- 畑田 雅敏 (昭44普) 皆尾 裕 (平9普)
- 鴉 裕子 (昭49普) 永井 瑞樹 (平13普)
- 妹尾 次郎 (昭55普) 鈴木 雅大 (平16普)
- 安藤 寛和 (昭58普)

発行所 樟樹会  
〒792-0024  
新居浜市宮西町4-46  
TEL 0897-3214331  
FAX 0897-3214331

発行者 妹尾 次郎  
編集者 石川美千子  
印刷所 株式会社サラト  
発行日 令和6年7月15日

表紙題字：檜崎 一光老師  
表紙写真：大久保直幸氏 (昭和44年卒)



樟樹会 新居浜西高等学校同窓会

E-mail [kusunoki@topaz.ocn.ne.jp](mailto:kusunoki@topaz.ocn.ne.jp)  
ホームページ <https://dousoukai.site/kusunoki/>  
この度、樟樹会ホームページがリニューアルされました。是非ご覧ください。

